

令和7年度 兵庫県農業気象技術情報第8号（1～2月情報）について

1 気象経過・予報から想定される栽培上の留意点と対応策

作物	地域	栽培上の留意点	対 応 策
水稲	全県共通	<p>1 生育 土づくり資材（肥料）及び有機物などを施用して土づくりに努める。堆肥は秋冬に投入した方が、次年度の地力窒素として効果的である。 秋すきをしていないほ場は、早急に耕うんし、稲わら・大豆殻等の腐熟を促進させ、水田のガス湧きを避けるとともに、ヒメトビウンカやスクミリンゴガイ（下記2参照）の越冬密度の低減を図る。</p> <p>2 病害虫 ・スクミリンゴガイが発生している地域については、ひょうごの農林水産技術 No.215 (https://hyogo-nourinsuisangc.jp/wp/wp-content/uploads/2021/11/nousui215_02.pdf) 及び農林水産技術総合センター You Tube動画「スクミリンゴガイの生態と防除～冬季の耕うん～ (https://youtu.be/aeppoxufEcQ)」を参考に、走行速度を落として丁寧な耕うんを実施する。 ・カメムシ類、ヒメトビウンカ等の越冬密度を下げるため、あぜ草の管理に努める。 ・ごま葉枯病が多発した圃場では、改良資材の投与や堆肥の施用など、土壌改良に努める。詳しくは令和7年7月29日発表の令和7年度病害虫発生予察技術情報第1号 (https://bojo.hyogo-nourinsuisangc.jp/archives/1394) を参照すること。</p>	
麦	全県共通	<p>1 生育 本年度は播種時期が概ね高温少雨で経過したことから、出芽期以降の生育は、いずれの地域でもおおむね順調に推移している。</p> <p>2 栽培管理 麦踏みは、ほ場が乾燥している時に、節間伸長期までに数回行い、分げつの促進と凍害防止を図る。播種量が多く、出芽後の生育が旺盛なほ場では、生育を抑えるために早めの実施することで、倒伏防止につながる。ほ場が湿った状態で麦踏みをする、トラクターの車輪跡が残り、かえって湿害を助長するため、ほ場乾燥時に実施すること。 排水溝は、水が溜まらないように手直しを確実にし、常に排水口に水が流れるようにする。</p>	
キャベツ	全県共通	<p>1 生育 10～11月にかけて気温は高く推移しており、生育、収穫時期が早まる可能性がある。</p> <p>2 鳥獣害 1～3月は、ヒヨドリによる食害が多くなる。</p>	<p>1 生育 結球期以降は凍霜害を受けやすくなる。球表面の腐敗の発生等、品質が低下しないうちに適期に収穫を行う。</p> <p>2 鳥獣害 鳥害が予想される場合は、ネット被覆等の対策を行う。</p>

作物	地域	栽培上の留意点	対 応 策
果樹	全県共通	<p>1 生 育 凍霜害や雪害の発生防止に努める。</p> <p>2 病虫害 越冬病虫害の密度を下げる。</p>	<p>1 生 育 敷きわらや伸びた草等は、果樹園内の気温を下げるので、敷きわらは霜害危険期を過ぎてから行う。 クリ、ブドウ、モモ等において、耐寒性の劣る幼木のせん定は、厳寒期を過ぎてから行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリ：春先の低温被害の対策として、幼木（2～4年生）への株ゆるめ処理等を行う（特に水田転換園は留意する）。 ・イチジク：稲わら、アルミ蒸着フィルム等で被覆を行う。主枝上面の被害が大きいので、稲わらを上面だけ被覆しても効果が高い。 ・青ナシ：粗せん定を実施し、枝への積雪を少なくする。また、棚の点検を行い、不良箇所を補修するとともに、必要に応じて中柱を追加する。 ・カンキツ類：耐寒性の劣る幼木や品種、未収穫樹に、不織布やこもで樹全体の被覆を行う。 <p>2 病虫害 病虫害の被害果、せん定枝及び落葉は、焼却あるいは園内からの持ち出しを行う。またマシン油乳剤や石灰硫黄合剤による薬剤防除とともに、粗皮削り等、耕種的な対策を組み合わせ、越冬病虫害の密度を下げる。</p>

◎ 水稻・麦の栽培については「稲・麦・大豆作等指導指針」を、防除については「病虫害発生予察情報」及び「病虫害・雑草防除指導指針」を参考にすること。

※ 本情報は、1月5日時点のデータを元に作成しています。

2 気象予報

(1) 近畿地方の向こう 1 か月予報

近畿地方 1 か月予報 (01/03～02/02)			
2026年01月01日14時30分 大阪管区気象台 発表			
向こう 1 か月 01/03～02/02	天候	近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	
	降水量	降水量は、近畿太平洋側で少ない確率 5 0 %です。	
	日照時間	日照時間は、近畿太平洋側で平年並または多い確率ともに 4 0 %です。	
1 週目 01/03～01/09	気温	1 週目は、平年並の確率 5 0 %です。	
2 週目 01/10～01/16	気温	2 週目は、平年並の確率 5 0 %です。	

気温・降水量・日照時間・降雪量の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	向こう 1 か月 01/03～02/02	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 40 30
		1 週目 01/03～01/09	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 50 20
		2 週目 01/10～01/16	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 50 20
		3～4 週目 01/17～01/30	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 30 40
降水量	近畿太平洋側	向こう 1 か月 01/03～02/02	<div><div></div><div></div><div></div></div> 50 30 20
	近畿日本海側	向こう 1 か月 01/03～02/02	<div><div></div><div></div><div></div></div> 40 30 30
日照時間	近畿太平洋側	向こう 1 か月 01/03～02/02	<div><div></div><div></div><div></div></div> 20 40 40
	近畿日本海側	向こう 1 か月 01/03～02/02	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 30 40
降雪量	近畿日本海側	向こう 1 か月 01/03～02/02	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 30 40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

(2) 近畿地方の向こう 3 か月予報

近畿地方 3 か月予報 (01月～03月)			
2025年12月23日14時00分 大阪管区気象台 発表			
01月～03月	降水量	降水量は、近畿太平洋側で少ない確率 5 0 %です。	
01月	天候	近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	
	降水量	降水量は、近畿太平洋側で平年並または少ない確率ともに 4 0 %です。	
02月	天候	近畿日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。近畿太平洋側では、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	
	降水量	降水量は、近畿太平洋側で平年並または少ない確率ともに 4 0 %です。	
03月	天候	近畿日本海側では、天気は数日の周期で変わります。近畿太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	

気温・降水量・日照時間・降雪量の各階級の確率 (%)			
気温	近畿地方	01月～03月	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 40 30
		01月	<div><div></div><div></div><div></div></div> 40 30 30
		02月	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 40 30
		03月	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 30 40
降水量	近畿太平洋側	01月～03月	<div><div></div><div></div><div></div></div> 50 30 20
		01月	<div><div></div><div></div><div></div></div> 40 40 20
		02月	<div><div></div><div></div><div></div></div> 40 40 20
		03月	<div><div></div><div></div><div></div></div> 40 30 30
	近畿日本海側	01月～03月	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 30 40
		01月	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 30 40
		02月	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 40 30
		03月	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 40 30
降雪量	近畿日本海側	01月～03月	<div><div></div><div></div><div></div></div> 30 30 40

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

※ 気温・降水量・日照時間は低い・平年並・高い（少ない・平年並・多い）の 3 階級で予報されます。階級の幅は、平年値の作成期間（1991～2020 年）における各階級の出現率が 33% となるように決めてあります。

ホームページアドレス

- ・「兵庫県病虫害防除所（病虫害発生予察情報）」
<https://bo.jo.hyogo-nourinsuisangc.jp>
- ・「病虫害・雑草防除指導指針」
<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>
- ・「兵庫県総合防除計画」
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougouboujyo.html>
- ・「稲・麦・大豆作等指導指針」
https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk12/af11_000000107.html

問い合わせ先

本情報に関すること

- | | |
|----------------|-------------------------|
| ・兵庫県農林水産部農産園芸課 | TEL (078) 341-7711 (代表) |
| | 農産班: 主作・機械担当 内線 79409 |
| | 農産班: 野菜担当 内線 79410 |
| | 花き果樹班 内線 79411 |

技術内容に関すること

- | | |
|---------------------|--------------------|
| ・兵庫県立農林水産技術総合センター | |
| 企画調整・経営支援部 | TEL (0790) 47-2435 |
| 農業技術センター 農産園芸部 | TEL (0790) 47-2410 |
| 農業技術センター 病虫害部 | TEL (0790) 47-1222 |
| 北部農業技術センター 農業・加工流通部 | TEL (079) 674-1230 |
| 淡路農業技術センター 農業部 | TEL (0799) 42-4880 |